

# 多文化共生社会のメガネ

世界中に住む人々から隣の席の友人にまで想像力を働かせ、自身の偏見や差別に向き合い、多文化共生社会の一員としてできることを考える。

## アプローチ

### 1 教室の中での多文化共生

コミュニケーションの大切さに気付き、世界の国や人々との共生について考えを深める。

- ✓ 色々な国のあいさつと、その価値について考えよう
- ✓ 外国にルーツのある友達から学ぼう
- ✓ 国際理解について考えよう



### 2 難民と多文化共生

難民や難民にまつわる人の身になり問題を体験することで、難民と共存する多文化共生社会を創る厳しさと重要性について考える。

- ✓ 難民とは
- ✓ 難民の旅
- ✓ 難民キャンプでの暮らし



### 3 幸せとは何か

人の幸せには物質的な幸せだけでなく、精神的な幸せも大きく関わっていることに気付き、「幸せ」とは何かについて考えを深める。

- ✓ 開発途上国マラウイの現状を知ろう
- ✓ マラウイの人たちの「笑顔」の理由を考えよう
- ✓ マラウイの人たちは「幸せ」なのだろうか



### 4 国の際理解

国の際(くにのきわ)に住む人々や想像力を働かせ、自身の偏見や差別に向き合い、多文化共生社会の一員としてできることを考える。



### 5 自分プレゼン

クラスの中で「他者の知らなかった自分」を表すプレゼンをする。1から4までの内容を振り返り、自分が持つ偏った他者への視点。その視点は隣の席の友人にも向けていることに気がつききっかけとする。

- ✓ 自分を知る
- ✓ 自分プレゼンのリハーサル
- ✓ 実演見学
- ✓ いざ自分プレゼン!



## 1班 作成者の言葉



**陣野 俊彦** 東京都立大島海洋国際高等学校

川の向こう岸に住む人たちに向けて想像力を働かせること、知ろうとすること。それが多文化共生への道に繋がると信じて。まずは一人でも多くの先生にこの指導案が届きますように。

**川尻 年輝** 長野県北安曇郡白馬村立白馬北小学校

国際化の重要性が増々叫ばれている今、教室にいる様々な国々にルーツのある友達を知ることが、現代における「多様性を認める社会の実現」の第一歩になるのではないかと思います。さあ、あいさつから始めましょう！



**田仲 永和** 君津市教育委員会

「いいな！」と思えた授業案は、ぜひためらわずに実践してみてください。先生方の経験を生かして学校・学級ごとにカスタマイズしていけば、きっと本当の学びが生まれるはずです。平和実現への第一歩となりますように。

**小口 佳那子** コロンビア大学大学院

世界の繋がりが多くなっていようでも分断も多くなっている、複雑な世の中だと思います。そのような境遇をどう乗り越えるか、若者達が自分で考える機会を与えられたらと思っています。



**広瀬 奈美** 慶應義塾大学

自由な選択肢に溢れ、「正解」がないような時代。だからこそ悩む人が多い気がします。そんな一人ひとりが少し外に内に目を向けて自分の道を歩けるように。

## 指導案に込めた思い

2020年10月にスタートした本プロジェクトチームであるが、1年半経った指導案脱稿前の現在も社会情勢は混迷の度合いを一層深めている。国家・民族間の対立、自由・平等をめぐる問題、富裕層・貧困層との格差問題など、世界の分断はコロナ化によってさらに加速した。上記の問題は見知らぬ人間同士にも波及し、オンライン・オフライン問わずヘイトスピーチなど枚挙にいとまがない。隣人同士の交流も制限された今、自己とは異なる他者へ想像力を働かせることこそ現代を生きる我々にとって必要なことではないかと考える。このような世界情勢を鑑み、国際理解の授業として生徒たちに考えてほしいこと、伝えたい価値観は何かと議論を重ねた上、本指導案は作られている。

昨年度の指導案では、ユネスコ21世紀教育国際委員会作成『学習：秘められた宝』記載の克服すべき7つの緊張状態にヒントを得て作成した。佐藤真久東京都市大学教授が加筆した8つの緊張状態をどのように国際理解の授業として具現化するかに主眼を置いたが、次のような反省が残った。

第一に国際理解における様々なトピックがカバーされているが、指導案として1つのテーマを絞りきれていないこと。第二に対象児童生徒が統一されておらず、実践する際に使いづらさを残していることである。

これらの反省点を踏まえ、本指導案では以下の点に注力した。まず初めにテーマを「多文化共生社会の実現のために」と絞り、各授業案が1つ1つのパーツとして構成されている。次に対象生徒を中学3年生と想定することにした。本タスクチームは小学校教諭、教育委員会指導主事、高校教諭、大学院生、大学生からなり、中学生の指導経験には乏しいかもしれないが、小学校6年間の教育の先に、又、高校3年間の前に取り組んでほしい、との校種連携の思い、また大学・大学院生のアカデミックな視点も取り入れつつ作成した。なお中学3年生の公民の教科書5社を参照し、グループワークのレベル感なども配慮をした。もちろん、中学3年生以外で実施できないということではない。各校種、学年ごとに先生方ご自身でカスタマイズし、実践していただきたい。

本指導案作成にあたり難民支援の観点から国連パレスチナ難民救済事業機関（UNRWA）ヨルダン事務所所長特別補佐官の角谷亮さんから助言をいただきました。この場をお借りし、感謝申し上げます。

## ジブンゴト化とは

一言で表現すれば、自身が所属する共同体への「責任感」のことである。前述した『学習：秘められた宝』の序文で、ジャック・ドゴールは次のように述べる。

我々が自然に所属する近隣社会といった共同体—国家、市・町・村の中で共生することを知らずして、いかに「地球村」で共生することを学びえようか。共同生活の中で、共同体生活の中で、共同体に貢献することを望み、あるいは貢献できることこそ民主主義の中心課題なのである。参加への意志は個々人の責任感に基づくものだということを忘れてはならない。これまで全体主義や独裁主義に束縛されていた国々に民主主義が新たな版図を拡げた。一方で、これまで何十年も民主主義制度を維持してきた国々において、あたかも物事には絶えず新しい始まりが必要で、すべては新たにされ、再発見されなければならないとでもいうように、いまや民主主義が精彩を欠く徴候が現れている。

これらの諸課題に対して、教育政策に携わる人々が関心を払わないでよいということはありません。そして本委員会も、教育政策が持続的な人間形成、諸国民の相互理解、実践的な民主主義の再生に貢献することによって、よりよき世界の創造に資する何らかの方策を示さないわけにはいかないのである。

この報告書は 1996 年に書かれたが、25 年たった現在も解決の兆しは一向に見えていない。それどころか課題は深刻さを増している。

グローバル化によって世界が狭くなった。それは自身が所属する共同体の課題が世界にどのような影響を与え、逆に世界から与えられるかがより可視化されたことと同義であるようだ。そのような時代だからこそ、この世界に生きる一人の人間として自身が所属する共同体・地球村に対して真摯に向き合える人を育成できるか。学校教育、中でも国際理解教育の果たす使命は大きい。

繰り返しになるが、上述の責任感を持った一人一人が集まる共同体が民主主義の根幹をなす初めの一歩として、多文化共生社会の実現をジブンゴトとして捉えられる人を育成する。それが本指導案の最大の目的である。

## 課題と今後の展望

人は誰しも、自分があまりよく知らない人たちや文化に対し偏見をもってしまうがちである。本指導案では、なかなか自分で気づくのが難しい、自分自身が持つ偏見に目を向け、考えを深めることを目的としている。そのために「世界中の挨拶」「難民」「幸せの定義」「国の際にある人・国」「隣の席の友達」という様々なアプローチからの授業アイデアを示した。

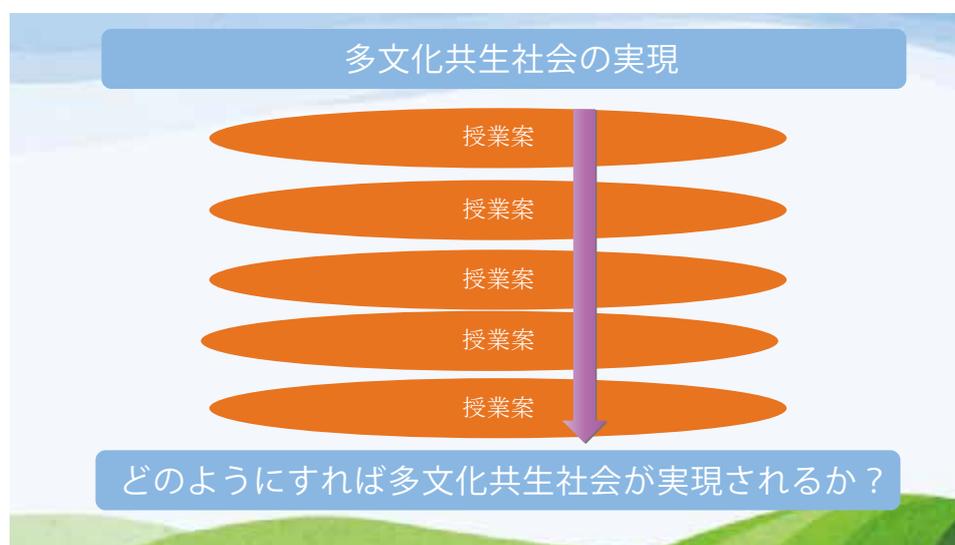
しかし、注意すべき点がいくつかある。

一つ一つの指導案の内容が独立できてしまうがゆえに、その一貫性に課題がある。教師自身が目標（多文化共生社会の実現）をしっかり持ち、指導のポイントを見失わないように注意が必要である。

世界中の言葉で挨拶を試みる、難民の申請ロールプレイ、マラウイの幸せフォトランゲージ、国と国の際しらべ、自分プレゼンなどアクティビティが多いため、「楽しかった」だけで終わってしまい、“活動あって学びなし”という状態に陥る可能性もある。

「知らない」ということが偏見や差別につながることもある。だからこそ『知る』ことで自分とは違う文化をもつ他者への理解が進み、『知ろう』と努力することが多文化共生社会を作る一歩になる」というメッセージを繰り返し伝える必要がある。

多文化共生社会の実現をジブンゴトとして捉えられる子どもたちを 1 人でも多く育成できるように、引き続き内容のアップグレードを図っていきたい。



# 多文化共生社会の実現に向けて

## 最上位目標

世界中に住む人々から隣の席の友人にまで想像力を働かせ、自身の偏見や差別に向き合い、多文化共生社会の一員としてできることを考える。

## 学びの流れ

### STEP 1：教室の中での多文化共生

コミュニケーションの大切さに気づき、世界の国や人々との共生について考えを深める。



### STEP 2：難民と多文化共生

自ら難民審査を体験することで、多文化共生社会をつくることの重要性和厳しさを理解する。



### STEP 3：幸せとは何か

人の幸せには物質的な幸せだけではなく、精神的な幸せも大きく関わっていることに気づき、「幸せ」とは何かについて考えを深める。



### STEP 4：国の際理解

国の際（くにのきわ）に住む人々や想像力を働かせ、自身の偏見や差別に向き合い、多文化共生社会の一員としてできることを考える。



### STEP 5：自分プレゼン

クラスの中で「他者の知らなかった自分」を表すプレゼンをする。Step1～Step4 までの内容を振り返り、自分が持つ偏った他者への視点。その視点は隣の席の友人にも向けていることに気がつくきっかけとする。

### STEP 1：教室の中での多文化共生

世界にはあいさつ言葉がたくさんあることやあいさつの価値観について考えさせます。  
コミュニケーションの基礎として、あいさつの重要性に気付かせたいです。

## 学びの構成

### 最上位目標

コミュニケーションの大切さに気づき、世界の国や人々との共生について考えを深める。

### 学びの流れ

#### 1時間目：いろいろな国のあいさつと、その価値について考えよう

世界にはあいさつ言葉がたくさんあることやあいさつの価値観について考えさせます。  
コミュニケーションの基礎として、あいさつの重要性に気付かせたいです。



#### 2時間目：外国にルーツのある友達から学ぼう

外国にルーツのあるクラスの友だちの話を聞き、理解を深めるとともに、その友だちのルーツのある国について調べ、諸外国に関心をもつ手掛かりとする。



#### 3時間目：国際理解について考えよう

自分にとっての「国際理解」について考えをまとめ、実践への見通しをもたせる。世界の国や人々との共生について考えを深めたい。

いろいろな国のあいさつと、その価値について考えよう1

## 【1時間目】いろいろな国のあいさつと、その価値について考えよう

**実施の目的：**世界のあいさつを知ったり、あいさつの価値についてじっくりと考えさせたりすることを通じて、相手の立場に立ったあいさつの大切さがわかる。

**生徒の目標：**①世界のいろいろなあいさつについて知る。

②あいさつの意義について、友達と対話しながらじっくりと考え、相手の立場に立ったあいさつの大切さに気付く。

**事前の準備物：**・世界の人々のあいさつシーンの写真、国旗  
・学習カードの印刷

目安時間	内容
5分	<p style="text-align: center;"><b>世界の“あいさつ”、いくつ知っていますか？</b></p> <p><b>【問い】世界のいろいろなあいさつについて、いくつ知っていますか？</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアトークで話し合いながら、学習カードに記す。</li> <li>・世界にはいろいろなあいさつがあることに気付く。</li> </ul> <p>※「世界中でこんにちは」こんにちはワールド (<a href="https://konnichiworld.com/world/hello.html">https://konnichiworld.com/world/hello.html</a>)</p> <p><b>資料1</b></p> <p>※あいさつシーンの写真や国旗をあらかじめ印刷して、黒板に掲示することで、あいさつについて意欲喚起させる。</p>  <p>ペアトークが早く終わってしまったら、自分の座席の前後など近い友達とも話し合う。</p>
10分	<p style="text-align: center;"><b>もしも、あいさつがない世界なら…？</b></p> <p><b>【ワーク】あいさつがない世界を考えてみよう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝、学校で友達と会ったとき…</li> <li>・友達とケンカをしてしまったとき…</li> <li>・食事を食べるとき、食べ終わったとき…</li> <li>・その他</li> </ul> <p>“あいさつ”が一切無かったら、次の場面ではどうなるのか話し合う。</p> 
10分	<p><b>【知る】あいさつの意義、価値とは何か考えよう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なぜあいさつが世界各国に存在するのか考える。</li> <li>・個人（学習カード）→ペアトーク→フリーワークと、じっくり考えを深めていく。</li> </ul>

**資料1 ※その他の資料はDVD・ホームページをご覧ください※**

**「こんにちはワールド」**

世界を280カ所以上訪問したSさんが、世界の挨拶「こんにちは」「ありがとう」「愛してる」を、現地の言葉と読み方付きでまとめています。旅行や日常会話集なども載っており、国際理解教育推進に大きな力となるはずです。

※こんにちはワールド：<https://konnichiworld.com/world/hello.html>



目安時間	内容
15分	<p style="text-align: center;"><b>あいさつで大切なポイントとは何だろう？</b></p> <p><b>【ワーク】 いろいろなあいさつの仕方を試してみよう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 明るい笑顔であいさつするとき、無表情であいさつするとき</li> <li>・ いつでもあいさつする人、気分でする人</li> <li>・ 先にあいさつする場合、後からあいさつする場合</li> <li>・ 続けるあいさつをするとき、あいさつ言葉だけで終わるとき</li> </ul> <p><b>資料2</b>  <b>※あいさつの4ヶ条</b>  「㊦かるく、㊧いつでも、㊨きに、㊩づけて」相手の立場に立ってあいさつしよう！</p>
10分	<p style="text-align: center;"><b>今日の学びを振り返ろう</b></p> <p><b>【まとめ】 今日の学習のまとめと振り返りを行う</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今日の学習を振り返り、今までの自分のあいさつを振り返ったり、今後のあいさつについて考えたり、自分なりに学習カードにまとめる。</li> <li>・ 代表児童数名に発表させ、今後のあいさつの仕方の参考にする。</li> </ul>

**資料2 ※その他の資料は DVD・ホームページをご覧ください※**

**「あいさつの4ヶ条」**

① 「あ」：明るい表情で、温かな気持ちで、握手するように、ありがとうの気持ちで

微笑みながら明るい表情で挨拶をされて嫌な気持ちになる人はいないと思います。まずは笑顔を大切に挨拶したいです。そして、相手に対して温かな気持ちで、相手とあたかも握手をするように、感謝の気持ち（ありがとう）をもって挨拶できたら最高ですね。

② 「い」：いろいろな人に、いつでも、居心地よく

朝一番のあいさつは、気持ちの良いものです。「今日も一日頑張るぞ！」という気持ちに挨拶した人もされた人もなります。知人だけでなく、いろいろな人に挨拶できると良いです。また、いつでも挨拶することで、相手との居心地の良い空気感が生まれ、挨拶が“人と人の潤滑油”となります。

③ 「さ」：先に、最初に、最高な

挨拶は誰かに言われてから挨拶するよりも、相手よりも先に、最初に挨拶することで、好印象をもってもらえます。また、堂々と最高な気分で挨拶することも大切です。先に挨拶を行うことで、好意を与えることが、「返報性の法則」から考えても、人と人との関係性をよくしていくことにつながるはずです。

④ 「つ」：続ける、（あいさつの）次の言葉を話す

挨拶は続けることに意味があります。気が向いたときだけ挨拶するのは、相手にしたらあまり良い気持ちにはなりません。挨拶を生活の一部、ルーティーン化してしまうことで、相手とのコミュニケーションのきっかけにもなります。さらに、あいさつの次の一言（おはようございます。今日も良い天気ですね!）を話すことで会話が弾み、さらに相手との心の距離も近付いていきます。

いろいろな国のあいさつと、その価値について考えよう2

## 【2時間目】外国にルーツのある友達から学ぼう

**実施の目的：**外国にルーツのある友達（※ここではタイ王国とする）の話しをもとに、その友達についての理解を深めたり、友達のルーツのある国と日本との関わりについて調べたりしながら、話し合う。

**生徒の目標：**①外国にルーツのある友達について理解を深める。  
②タイ王国について調べ、理解を深める。

**事前の準備：**・外国にルーツのある生徒との打ち合わせ  
・学習カードの印刷

目安時間	内容
5分	<p style="text-align: center;"><b>タイ王国について、どんなことを知っていますか？</b></p> <p><b>【問い】タイ王国について、どんなことを知っていますか？</b> ・ペアトークで話し合い、タイ王国について話し合う。</p> <div style="border: 1px solid #f96; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>話し合いの様子を見ながら、タイ王国の写真を数点掲示する。</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">    </div>

目安時間	内容
10分	<p style="text-align: center;"><b>Aさんについて知ろう！</b></p> <p><b>【聞く】 Aさんの話しを聞こう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本にきて良かったこと、苦労していること</li> <li>・タイ王国と日本の似ていることについて</li> <li>・タイ王国と日本の違うところについて</li> <li>・その他</li> </ul> <p><b>【深める】 感想交流</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアトークやグループトークでAさんやタイ王国について友達と語り合う。</li> <li>・感想を出し合い、全体発表する。</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>タイ王国について調べよう！</b></p> <p><b>【ワーク】 タイ王国と日本の歴史や関係を調べよう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・約600年前ころ、朱印船貿易でタイ国と交易していた。</li> <li>・江戸時代の初め頃に、山田長政がタイに渡り活躍した。</li> <li>・1887年に、正式な国交が結ばれた。</li> <li>・現在では、タイ王国は、日系企業の一大活動拠点となっている。</li> </ul> <p>※外務省 HP「キッズ外務省・世界の国々」を活用する。 ※“美点凝視”を大切に、肯定的な歴史や関係を中心に調べさせたい。</p> <p><b>資料3</b> ※「キッズ外務省・世界の国々」 <a href="https://www.mofa.go.jp/mofaj/kids/ichiran/index.html">https://www.mofa.go.jp/mofaj/kids/ichiran/index.html</a></p> 
10分	<p style="text-align: center;"><b>今日の学びを振り返ろう</b></p> <p><b>【まとめ】 今日の学びを振り返ろう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今日の学習を振り返り、今後、Aさんとどうしていきたいか考える。</li> <li>・代表児童数名に発表させ、感想交流を行う。</li> </ul>

**資料3 ※その他の資料は DVD・ホームページをご覧ください※**  
**「キッズ外務省・世界の国々」**

世界の国々について、首都・主要言語・人口・通貨単位などが一覧表で示されています。また、各国名をクリックすることで、基礎データが載っているページにジャンプし、様々なその国のことがわかるようになっています。



## 【3時間目】国際理解について考えよう

**実施の目的：**国際理解について考える

**生徒の目標：**①国際理解という言葉の意味を考え思考する。

②3枚の写真から、いろいろな国の違いを理解し、私たち日本人がどのようなことができそうなのか考える。

③自分にとっての「国際理解」について考えをまとめ、実践の見通しをもたせるとともに世界の国や人々との共生について考えを深める。

**事前の準備：**・ フォトランゲージで使う、国際理解を感じやすい場面の写真を3枚用意する。

EX. 「地雷の看板」「水くみ」「難民キャンプ」

・ 資料3を読み、3つの事象について、概略を理解しておく。

目安時間	内容
5分	<p style="text-align: center;"><b>国際理解って、どんなこと？</b></p> <p><b>【問い】「国際理解」ってどんなことかな？</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ペアトークで話し合い、国際理解について話し合う。</li> <li>・ 国語辞典を使って意味を調べる。</li> </ul> <p>※世界の人々が、国を越えて理解しあい、協力し、世界平和を実現すること</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>ペアトークの後、国語辞典を活用し、国際理解について意味を知る。</p> </div>
10分	<p style="text-align: center;"><b>3枚の写真から（フォトランゲージ）</b></p> <p><b>【話し合う】写真を見て、気付いたことを話し合おう！</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 写真を見ながら友と語り合い、地球上には様々な課題があることを感じる。</li> <li>・ 学習カードやノートに、写真を見ての気づきを書き、友達と感想交流を行う。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>A</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>B</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>C</p> </div> </div> <p><b>資料4</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>A 地雷廃絶日本キャンペーン（JCBL）</li> <li>B（公財）日本ユニセフ協会 「遠い水源」</li> <li>C 国連 UNHCR 協会</li> </ul>

目安時間	内容
10分	<p style="text-align: center;"><b>私たち日本人は、どうすればよいのだろうか？</b></p> <p><b>【思考する】 写真を見て感じたことをもとに、私たち日本人について考える</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と感想交流を行う。</li> <li>・なぜ日本と状況が違うのか考える。</li> <li>・私たち日本人が出来ることとは何か考える。</li> </ul>
10分	<p style="text-align: center;"><b>あなたにとっての「国際理解」とは？</b></p> <p><b>【まとめ1】 「国際理解」とはどんなことなのか考えをまとめる</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習を振り返り、自分なりの「国際理解」について考えをまとめる。</li> <li>・友達と意見交流し、考えを広める。</li> <li>・広くクラス全体に知らせたい考えは、全体発表の時間をとり、共有化を図る。</li> </ul>
15分	<p style="text-align: center;"><b>今後の見通しをもとう</b></p> <p><b>【まとめ2】 今日の学びを振り返ろう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今日の学習を振り返り、「国際理解」という視点で、自分自身がどうしていきたいのか見通しをもたせる。</li> <li>・代表児童数名に発表させ、感想交流を行う。世界の国や人々の共生について触れる。</li> </ul>

**STEP 2：難民と多文化共生**

自ら難民審査を体験することで、多文化共生社会をつくることの重要性和厳しさを理解する。

## 学びの構成

### 最上位目標

難民や難民にまつわる人の身になって難民問題を体験することで、  
難民と共存する多文化共生社会を創る厳しさと重要性について考える。

### 学びの流れ

**1 時間目：難民とは**

難民申請を体験することで、難民と共存する多文化共生社会を創る重要性和厳しさについて考える。

**2 時間目：難民の旅**

難民の命懸けの旅を体験することで、その課題の深刻さと難民と共存する多文化共生社会を創る重要性を理解する。

**3 時間目：難民キャンプでの暮らし**

難民キャンプでの暮らしを体験することで、その課題の深刻さと難民と共存する多文化共生社会を創る重要性を理解する。

## 【1時間目】 難民とは

**実施の目的：** 難民申請を体験し、難民と共存する多文化共生社会を創る重要性と厳しさについて考える。

**生徒の目標：** ①難民を受け入れて多文化共生社会を創る、という課題の複雑さと重要性を知る。

②難民と審査官の視点から難民審査について考え、難民と生きる多文化共生社会を想像する。

**事前の準備物：** **資料①** 「難民」、「庇護希望者」、「国民難民」の説明ビデオ

**ワークシート①** 難民認定審査を体験しよう（ワーク）

**ワークシート②** 難民認定審査を体験しよう（答え）

**資料②** 難民審査後の説明ビデオ

**ワークシート③** 振り返りシート①

目安時間	活動内容
10分	<p style="text-align: center;"><b>難民ってだれ？</b></p> <p><b>【問い】『世界の95人に1人』って、なんの数字？</b>            答え：この数字は『紛争や迫害などが原因で家を追われた人』の数です（<b>国連 UNHCR 協会</b>）。2020年は8240万人が紛争や迫害などが理由で家を追われ、この中には難民（2640万人）、庇護希望者（410万人）、国内避難民（4800万人）などがいます。</p> <div style="border: 1px solid #f96; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p style="text-align: center;">問いの答えがなかなか出ないときは、ヒントを出しましょう：              (例) そのうちのほとんどがシリア人</p> </div> <p><b>【知る】 難民、庇護希望者、国民難民のちがいを知ろう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 難民：1951年の難民条約で定められた人々を指す。人種、宗教、国籍、政治的意見などの理由から迫害を受けて母国を逃れ、異国での保護を望む人。</li> <li>・ 庇護希望者：難民のように迫害を受けて母国を逃れ、異国での難民認定を待つ人。</li> <li>・ 国内難民：難民のような迫害を受けて家を逃れたが、国境を越えられないまま避難生活をしている人。</li> </ul> <div style="border: 1px solid #f96; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p style="text-align: center;">それぞれについて説明している<b>資料①</b>のビデオを見せると分かりやすいかもしれません。</p> </div> <p><b>【知る】 どうしたら難民として保護してもらえるの？</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 難民になるには、保護を受けたい国による難民認定審査を通らなければなりません。</li> <li>・ 日本の難民認定審査を通るには、面接で十分な証拠を見せる必要があります。不十分だとされた場合、一時的な保護を受け、また起訴をするチャンスが何度かありますが、何ヶ月も何年も待たされる長期戦です（<b>国連 UNHCR 協会</b>）。</li> </ul>

目安時間	活動内容
35分	<p style="text-align: center;"><b>日本の難民認定審査を体験しよう</b></p> <p><b>【ワーク】</b> もしあなたが法務省入国管理局の面接官だったら、次の理由で難民認定申請をする庇護希望者がいるときどうしますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>ワークシート①</b>にある庇護希望者を難民として認定するか、グループで話し合みましょう。</li> </ul> <p><b>【知る】</b> 法務省入国管理局の難民認定に基づく審査をもとに、日本にとって難民とは誰なのか考えよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ここでワークの答え合わせをします。<b>ワークシート②</b>を読んで、日本にとってどんな人が難民とされるのかを考えましょう。</li> </ul> <p><b>【問い】</b> 審査を通った人、通らなかった人ってどうなるの？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 通った人：政府や自治体、NGO から保護を受ける事ができ、定住者の資格をもらったり就労が許可されたりする。</li> <li>・ 通らなかった人：一時的な保護のために入国管理施設に送られる事がある。日本ではここでの環境の悪さについて海外からも厳しい指摘を受けている。</li> </ul> <div style="border: 1px solid #ccc; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 20px; background-color: #fff9c4;"> <p style="text-align: center;">それぞれのシナリオについて説明する<b>資料②</b>のビデオ見せるとわかりやすいかもしれません。</p> </div>
5分	<p style="text-align: center;"><b>まとめ：難民と生きる多文化共生社会ってどうやって創るの？</b></p> <p><b>【まとめ】</b> 授業の感想を共有しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ まとめとして生徒の感想を集めましょう。</li> </ul> <p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本の難民認定審査についてどう思いましたか</li> <li>・ もし審査基準を変えられるとしたらどのようにしたいですか</li> <li>・ 授業の感想を<b>ワークシート③</b>に書きましょう</li> </ul> <div style="border: 1px solid #ccc; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 20px; background-color: #fff9c4;"> <p style="text-align: center;">なかなか厳しい現実を知る授業でしたが、最後は難民に思いやりを抱き、多文化共生社会について考えられるといいですね。</p> </div>

## 【2時間目】 難民の旅

**実施の目的**：難民の命懸けの旅を体験することで、その課題の深刻さと難民と共存する多文化共生社会を創る重要性を理解する。

**生徒の目標**：①難民として生きることの厳しさと深刻さの理解を深める  
②深刻な課題について自分や社会ができることを考える

**事前の準備物**：**資料③** 難民の説明ビデオ  
**資料④** すごろくワーク資料  
**ワークシート④** 振り返りシート②

目安時間	活動内容
15分	<p style="text-align: center;"><b>難民ってどんな人？</b></p> <p><b>【知る】 難民とはどのような状況にある人なのか、ビデオを観て学ぼう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>資料③</b>のビデオを通して学んだことを共有しましょう。</li> </ul> <div style="border: 1px solid #ccc; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px; background-color: #fff9c4;"> <p>難民とは深刻で複雑な問題です。どこまで厳しい現状について触れるのが適切なのか、見せるビデオを資料③から選ぶことで調節できます。</p> </div>
25分	<p style="text-align: center;"><b>すごろくを通して「難民の旅」を体験しよう</b></p> <p><b>【ワーク】 難民として生きることの厳しさと深刻さをより理解するために、すごろくを通して難民の旅を体験しよう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小グループに分かれて<b>資料④</b>のいずれかの難民すごろくを行います。</li> <li>・ ルールは通常のすごろくと一緒です。</li> <li>・ プレーヤーは「母国で迫害を受けた少数民族民族の難民」という設定です。</li> </ul> <div style="border: 1px solid #ccc; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px; background-color: #fff9c4;"> <p>「すごろく」ではあるものの、このワークでは難民の人を尊重し、真剣に取り組むように促しましょう。</p> </div>

目安時間	活動内容
10分	<p style="text-align: center;"><b>わたしたちができること</b></p> <p><b>【問い】 難民が置かれている状況を少しでも改善させるために、わたしたちができることは何か、考えてみよう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まとめとして生徒の感想を集めましょう。</li> </ul> <p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・すごろくでゴールはできましたか。なぜゴールするのが難しかったですか。</li> <li>・ワークを通して、難民としてどういう気持ちになりましたか</li> <li>・もし自分の国に難民が来たら、どういう言葉をかけると思いますか</li> <li>・授業の感想を<b>ワークシート④</b>に書きましょう</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>「すごろく」ではふりだしに戻れても、現実はそこで旅が終わってしまう事がある厳しい現状についてクラスで考えましょう。</p> </div>

すごろくワーク資料



難民の生きる世界を知るためにすごろくをします。しかし、このすごろくは「ゲームではない」ことを生徒に伝えましょう。いつものような楽しい人生ゲームなどとは違い、実際に起こる難民の迫害や危険な移動を体験するものと説明します。すごろく①はやさしいすごろくで、すごろく②は複雑な上級者向けのすごろくです。いずれかを選んでください。

すごろく①	すごろく②
	

## 【3時間目】 難民キャンプでの暮らし

**実施の目的：**難民キャンプでの暮らしを体験することで、その課題の深刻さと難民と共存する多文化共生社会を創る重要性を理解する。

**生徒の目標：**①難民の日々の暮らしを知り、その厳しさと課題の深刻さを理解  
②深刻な課題について自分や社会ができることを考える

**事前の準備物：**資料⑤ 難民フォトランゲージ  
資料⑥ 難民キャンプロールプレイカード  
ワークシート⑤ 振り返りシート③

目安時間	活動内容
15分	<p style="text-align: center;"><b>難民って、どこでどんな暮らしをしているの？</b></p> <p><b>【ワーク】 写真を観て難民の暮らしを想像しよう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資料⑤をもとにフォトランゲージを行います <b>★補足①</b></li> </ul> <div style="border: 1px solid #ccc; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>難民とは深刻で複雑な問題です。生徒に合わせて資料⑤からフォトランゲージの写真を選びましょう。</p> </div> <p><b>【知る】 難民ってどこでどんな暮らしをしていると思いますか</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ワークの後に話を難民キャンプへ移します：</li> <li>難民の多くは「難民キャンプ」でテント暮らしをし、受け入れ国でも足止めされています。そこではプライバシーも少ない中、いつ普通な生活ができるかわからない状況で生活しています。さまざまに紛争地域の民族が一つのキャンプに集まるとキャンプ内で対立することもあります。</li> </ul>
35分	<p style="text-align: center;"><b>難民キャンプの暮らしを体験しよう</b></p> <p><b>【ワーク】 難民キャンプの住民になりきって難民キャンプの暮らしを体験しよう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資料⑥をもとに小グループに分かれてロールプレイを行います <b>★補足②</b></li> <li>ワーク中の問いの例</li> <li>「民族Aの男性」さんは「難民キャンプを提供している国の政府代表者」さんにどういふことを要求しますか。その要望に対して「政府代表者」さんはどう答えますか。</li> </ul> <div style="border: 1px solid #ccc; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>ロールプレイの途中で問いを挟むことで、ディスカッションを複雑化することも可能です。</p> </div>

目安時間	活動内容
10分	<p style="text-align: center;"><b>わたしたちができることは</b></p> <p><b>【問い】 難民のためにわたしたちができることは何か考えてみよう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まとめとして生徒の感想を集めましょう。</li> </ul> <p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ロールプレイを通してどのような発見がありましたか</li> <li>・難民キャンプよりも良い多文化共生社会のあり方があると思いますか</li> <li>・どうしたら難民が暮らしやすいキャンプや社会を創れると思いますか</li> <li>・授業の感想をワークシート⑤に書きましょう</li> </ul>

## ＜ 補 足 ＞

### ★補足①

#### 「フォトランゲージ」について

※詳細はこちらから→

開発教育協会 DEAR ホームページ

<http://www.dear.or.jp/activity/1730/>



#### 「フォトランゲージ」とは

1枚の写真も、使い方次第で立派な開発教育の教材になる。

フォトランゲージは、写真を使って行う参加型のアクティビティだ。

たとえば、南の島から届いた1枚の絵はがき。「どこの島（国）だろう？」「ここに写っている人は何をし（考えて）いるのだろうか？」といった疑問に始まり、その土地の文化的な特徴が表われているものを探したり、写真にキャプション（簡単な解説）を付けてみたり、その写真を題材にしてニュース記事を書いたり…。グループで話し合い、写真を“読み解く”なかから、いろいろな気づきや発見が生まれる。

フォトランゲージで使用する教材（写真）は、絵はがきや雑誌の切り抜き、写真集のページをカラーコピーするだけで簡単に用意することができるので、誰でも手軽に取り組むことができる。また、ビジュアルな道具を使うことには、その後の話し合いのテーマ、焦点を明確にしやすいという利点もある。

#### 「フォトランゲージ」の効果

1. 共感的な理解や想像力を高める
2. ものごとの多様な捉え方に気付く
3. 無意識のうちに持っている偏見や固定観念に気付く
4. メディアに対して批判的な見方ができるようになる

#### 「フォトランゲージ」を行う際の注意点

1. 観察に十分な時間をとる
2. 間違った答の背景にあるものを重視する
3. 自由な発想を大切にす

## ★補足②

### 「ロールプレイ」について

※詳細はこちらから→

開発教育協会 DEAR ホームページ

<http://www.dear.or.jp/activity/1734/>



### 「ロールプレイ」とは

ロールプレイ（役割演技）というのは、実はかなり広い意味を持っている。しかし、ここでは、開発教育の手法として通常使われている、狭い意味でのロールプレイについて説明したいと思う。シミュレーションが、ある事象をモデル化し、参加者がそれを擬似的に体験するものであるのに対し、ロールプレイでは、ある特定の（自分と違う）立場の人（場合によっては、動物やモノの場合もある）になったつもりで、ある問題について考え、それを表現するということに特徴がある。

### 「ロールプレイ」の進め方のパターン

#### その1：参加者全員を登場人物の数にグループ分けし、それぞれのグループに配役する。

1. 各グループに「役柄カード」を配り、よく読んで、グループ内でその役柄について話し合う。
2. 各グループから1人、代表者を出し、グループ内での話し合いの内容に沿って、全員の前でそれぞれの役柄を演じ、意見を言う。
3. 合意形成をめざし、全員で話し合う。
4. 時間に余裕がある場合は、途中で話し合いを中断して課題を整理し、グループ毎に調査や話し合いを行った上で再開する。

#### その2：参加者の中から登場人物の数だけ代表を選び、他の参加者の前で演じる。

1. 代表者に「役柄カード」を配る。
2. 代表者は、「役柄カード」に沿って役柄を演じ、意見を言う。
3. 登場人物（演じ手）による話し合いが決裂した状態でストップする。
4. 各登場人物はどのような考えだったのか、参加者全員で話し合う。
5. 解決策について、全員で話し合う。

### 「ロールプレイ」のねらい

1. 共感的な理解や想像力を高める
2. ものごとの多様な捉え方に気づく
3. 無意識のうちに持っている偏見や固定概念に気づく
4. メディアに対して批判的な見方ができるようになる

### 「ロールプレイ」を行う際の注意点

1. 観察に十分な時間をとる
2. 間違った答えの背景にあるものを重視する
3. 自由な発想を大切にする

**STEP 3：幸せとは何か**

人の幸せには物質的な幸せだけではなく、精神的な幸せも大きく関わっていることに気づき、「幸せ」とは何かについて考えを深める。

---

## 学びの構成

---

**最上位目標**

人の幸せには物質的な幸せだけではなく、精神的な幸せも大きく関わっていることに気づき、「幸せ」とは何かについて考えを深める。

**学びの流れ****1時間目：開発途上国（マラウイ）の現状を知ろう**

開発途上国の写真を見ながら、物質的貧困の現実に向き合う導入段階です。日本との相違点・共通点・類似点を探します。その中でもあえて、相違点が多い写真を使います。

**2時間目：開発途上国（マラウイ）の人たちの「笑顔」の理由を考えよう**

STEP1とは対照的に、貧困の中にも「笑顔」が見られる写真を提示し、相違点だけでなく、共通点も多くあることに気づきます。そして「笑顔」の理由について話し合います。物質的には貧しい生活でも、幸せは存在するということに気付いていきます。

**3時間目：開発途上国（マラウイ）の人たちは「幸せ」なのだろうか**

あえて答えがはっきり出ない問いを立てることによって、様々な考えが出てくることをねらいます。理由をつけて「幸せの理由」を説明することで、物質的な幸せだけでなく、精神的な幸せとは何かについて考えを深めます。

## 【1時間目】 開発途上国の現状を知ろう

**実施の目的：** 開発途上国の現実を知り、自分たちの生活を相対的に見ることができる。

**生徒の目標：** ①開発途上国の物質的貧困という厳しい現実への理解を深めることができる。

②自分たちとの相違点・共通点・類似点を探し、見つけ出すことができる。

**事前の準備物：** 開発途上国と先進国とで色分けされた世界地図 **資料①**

フォトランゲージ写真集（マラウイの貧困編）からグループ数分 **資料②**

フォトランゲージ写真集（マラウイの笑顔編）から1枚 **資料③**

**ワークシート①**

目安時間	活動内容
5分	<p style="text-align: center;"><b>色分けされた世界地図を見て気付くことはあるかな？</b></p> <p><b>【問い】 この世界地図は何によって色分けされているだろう？</b>                      (例) 暖かい国と、寒い国                      裕福な国と、貧しい国  <b>資料①「色分けされた世界地図」</b></p> <div style="border: 1px solid #ccc; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>あくまで予想なので色々な予想が出ると思います</p> </div>  <div style="text-align: right; margin-top: 20px;">  </div> <p><b>【問い】 開発途上国についてどのくらい知っていますか？</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開発途上国について確認する。</li> </ul> <p>「世界 196 カ国のうち、約 150 もの国々が、まだ経済と産業の発展が遅れた『開発途上国』です。そこに暮らす多くの人々は飢えや貧困に苦しみ、十分な食料や飲み水を得ることができず、学校や病院に行くこともできません。食べること、学校に行くことが『当たり前』の先進国は世界のほんの一部。いまでも世界中で多くの人々が苦しんでいるのです。」</p> <p>※『どうなってるの？世界と日本（第二版）』より</p>

目安時間	活動内容																											
40分	<p style="text-align: center;"><b>開発途上国の「マラウイ」について知ろう</b></p> <p><b>【知る】 開発途上国の「マラウイ」について調べよう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>ワークシート①</b>にマラウイについてインターネットや本で調べたことを記入して、比較する。</li> </ul> <p style="text-align: right;">この指導案では世界最貧国の1つであるマラウイを選んでいますが、他の開発途上国を選んでも構いません。</p> <p>※調べる時間がなければ、予想→答え合わせ、で教えてしまってもよい。          ※日本に比べて、とても貧しいことがGDPの比較などで確認できるようにする。</p> <table border="1" data-bbox="312 721 1433 1191"> <thead> <tr> <th></th> <th>マラウイ</th> <th>日本</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>位 置</td> <td>南半球 (アフリカ)</td> <td>北半球 (アジア)</td> </tr> <tr> <td>面 積</td> <td>約 12 万km<sup>2</sup></td> <td>約 38 万km<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td>人口 (千人)</td> <td>18,629 世界第 63 位 (2019 年)</td> <td>126,860 世界第 11 位 (2019 年)</td> </tr> <tr> <td>主な宗教</td> <td>キリスト教</td> <td>仏教など</td> </tr> <tr> <td>主な産業</td> <td>農業 (タバコ)</td> <td>工業</td> </tr> <tr> <td>主 食</td> <td>トウモロコシ (ンシマ)</td> <td>米 (ごはん)</td> </tr> <tr> <td>GDP (百万 US \$)</td> <td>7,663 世界第 149 位 (2019 年)</td> <td>5,079,916 世界第 3 位 (2019 年)</td> </tr> <tr> <td>その他の特徴 (なんでも)</td> <td>マラウイ湖、世界最貧国、Warm Heart of Africa</td> <td>相撲、寿司、富士山、島国</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">小学生を対象とする場合には『DOOR ドア』(帝国書院)という本が調べ学習におすすめ。どの国も見開き1ページで、200以上の国が素敵なイラスト付きで紹介されています。</p> <p><b>【ワーク】 フォトランゲージをやってみよう ★補足①・②</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>資料②</b>『フォトランゲージ写真集 (マラウイの貧困編)』から、グループに1枚ずつ配られた写真を見て、気づきをメモして発表する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>フォトランゲージでは、<b>共通点・相違点・類似点</b>に着目することがポイントです。また、<b>疑問</b>に思ったこと、<b>想像</b>したこともメモするように促してみましょう。ここではあえて、相違点に多く気づくような写真をチョイスしてあります。</p> </div> <div style="text-align: right; margin: 10px 0;">  </div> <div style="background-color: red; color: white; padding: 10px; text-align: center; margin: 10px 0;"> <p><b>【注意】</b> 写真についての解説部分 (資料②青枠内) はここでは見せません。</p> </div> <p>★補足②は、P25 補足①を参照してください。</p>		マラウイ	日本	位 置	南半球 (アフリカ)	北半球 (アジア)	面 積	約 12 万km <sup>2</sup>	約 38 万km <sup>2</sup>	人口 (千人)	18,629 世界第 63 位 (2019 年)	126,860 世界第 11 位 (2019 年)	主な宗教	キリスト教	仏教など	主な産業	農業 (タバコ)	工業	主 食	トウモロコシ (ンシマ)	米 (ごはん)	GDP (百万 US \$)	7,663 世界第 149 位 (2019 年)	5,079,916 世界第 3 位 (2019 年)	その他の特徴 (なんでも)	マラウイ湖、世界最貧国、Warm Heart of Africa	相撲、寿司、富士山、島国
	マラウイ	日本																										
位 置	南半球 (アフリカ)	北半球 (アジア)																										
面 積	約 12 万km <sup>2</sup>	約 38 万km <sup>2</sup>																										
人口 (千人)	18,629 世界第 63 位 (2019 年)	126,860 世界第 11 位 (2019 年)																										
主な宗教	キリスト教	仏教など																										
主な産業	農業 (タバコ)	工業																										
主 食	トウモロコシ (ンシマ)	米 (ごはん)																										
GDP (百万 US \$)	7,663 世界第 149 位 (2019 年)	5,079,916 世界第 3 位 (2019 年)																										
その他の特徴 (なんでも)	マラウイ湖、世界最貧国、Warm Heart of Africa	相撲、寿司、富士山、島国																										

目安時間	活動内容
40分	<p>(フォトランゲージの進め方)</p> <p><b>手順1 個人で写真をよく見る時間をとる</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>ワークシート①</b>に自分の気づきをメモする。</li> </ul> <p>答えを当てるのが目的ではありません。どんな意見も出せる雰囲気づくりをしましょう。同じ写真を見ていても10人いたら10通りの捉え方があるはずです。</p> <p><b>手順2 グループで気づきを共有する</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 写真の余白に気づきを書き込む。</li> <li>・ <b>ワークシート①</b>にグループの気づきを書き足す。</li> </ul> <p>写真を紙に貼って余白に書き込ませても、1人1台端末を活用してもいいですね！</p> <p><b>手順3 全体で気づきを共有する</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 他のグループの発表を聞いて気付いたことを <b>ワークシート①</b>に書く。</li> </ul> <p>出てきた意見は、なるべくそのまま受け入れましょう。また、なぜそう考えたのか、理由が大事です。</p> <p><b>手順4 事実について確認しながら間違いの背景について考える</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資料③についている写真についての解説をもとに事実を知る。</li> </ul> <p>答え合わせが目的ではありません。なぜそう考えてしまったのか、自分の「偏見」や「固定観念」に気付くきっかけになります。</p> <p><b>手順5 振り返りをする</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ フォトランゲージ全体を通じて考えたことを発表する。</li> </ul> <p>教師が用意した結論に誘導しすぎないように、あくまで児童生徒から出てきた意見を尊重しましょう。</p>
5分	<p style="text-align: center;"><b>開発途上国の生活は厳しい</b></p> <p><b>【チェック】幸福度チェックをしてみよう（1回目）★補足③</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本に住む自分の幸福度を0～10の10段階で選ぶ。</li> <li>・ マラウイの人たちの幸福度も同様に予想してみる。</li> <li>・ その数値を選んだそれぞれの理由も、短い言葉で <b>ワークシート①</b>に書く。</li> </ul> <p>もし自分がマラウイに住んでいたら、と想像してみましょう。</p> <p>幸福度がどのくらいか挙手形式で確認してみると、友達との感じ方の違いに気付けます。Google formsなどの活用もいいですね。</p>

目安時間	活動内容
5分	<p><b>【まとめ】 授業の感想をワークシート①に書こう</b> (感想例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ かわいそう</li> <li>・ 何とかしてあげたい</li> <li>・ 自分たちは恵まれている</li> <li>・ 世界には厳しい生活に耐えている人がいる</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>貧しいのになぜ笑顔でいられるの？</b></p> <p><b>【予告】 貧しさの中、なぜ笑顔でいられるのだろう？</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次時に使用する資料③「フォトランゲージ写真集（マラウイの笑顔編）」から1枚、笑顔で写っている人の写真を見る。</li> <li>・ 笑顔の写真から「笑顔の理由」を考えてみよう、次時への意欲を持つ。</li> </ul> <div style="border: 1px solid orange; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>厳しい生活環境なのに、なぜ「笑顔」なのだろう、とその矛盾について考えるきっかけとなる写真を選びましょう。</p> </div> <div style="text-align: right; margin-top: 20px;">  </div>

### 【マラウイームチンジ (2018)】



川に洗濯にきた村の人たち。選択に来たついでに川で遊んでいた。マラウイでは洗濯は女性か子供の仕事。井戸から水をくみ洗濯をすることもあるが、洗濯には水をたくさん使うため、川で洗濯した方が水くみの手間を省ける。川は日本のようにしっかり整備されていないので、雨季になるとすぐに氾濫し、道が水没し、子供が学校に通えなくなるという問題も起きている。後ろに見えるのは牛の放牧。

## 【2時間目】 開発途上国の人たちの「笑顔」の理由を考えよう

**実施の目的：**「笑顔」の写真から、物質的貧困と精神的幸福が共存し得ることに気付く。

**生徒の目標：**①日本とマラウイには違いだけでなく、共通点もあることに気付く。

②人の幸せには、物質的な幸せだけではなく、精神的な幸せも大きく関わっていることに気付く。【精神的なものとの緊張】

③昔ながらの遊びや仕事には、既製品や機械にはない良さ（人と人とのコミュニケーション、達成感など）があり、それが幸せに関連していることに気付く。【伝統と現代性との緊張】

**事前の準備物：**フォトランゲージ写真集（マラウイの笑顔編）からグループ数分 **資料③**

国民総幸福量（GNH）の4本柱と9領域についての資料 **資料④**

**ワークシート②**

目安時間	活動内容
5分	<p style="text-align: center;"><b>「笑顔」の理由は何だろう？</b></p> <p><b>【問い】 みんなは、どんな時に「笑顔」になる？</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ おいしいものを食べている時</li> <li>・ 友達と遊んでいる時</li> <li>・ ゲームを買ってもらった時</li> <li>・ ほめられた時</li> <li>・ やりたいことをやっている時</li> </ul> <div style="border: 1px solid #ccc; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px; background-color: #fff9c4;"> <p>身近な出来事や経験について想起しておく、フォトランゲージの時に、マラウイの人たちの「笑顔の理由」を考える時の参考になります。</p> </div>
30分	<p style="text-align: center;"><b>開発途上国の人たちの「笑顔」の理由を考えよう</b></p> <p><b>【問い】 この写真の中のマラウイの人たちはなぜ「笑顔」なのかな？</b></p> <p><b>【問い】 開発途上国のブータンが「幸せの国」と呼ばれていること知ってる？</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ブータンのGDPランキングは166位（2019年）と低い、国民の大半が「幸せだ」と答えていることを知る。</li> <li>・ 「国民総幸福量（GNH）」という指標が大きく関わっていることを知る。</li> </ul> <p><b>【知る】 ブータンが作った「国民総幸福量（GNH）」について知ろう <b>資料④</b></b>  <small>（感想例）</small></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ GDPよりGNHを重視しているのが驚き。</li> <li>・ 考え方は1つではないんだ。</li> <li>・ 日本やマラウイはどうなんだろう。</li> </ul> <div style="border: 1px solid #ccc; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px; background-color: #fff9c4;"> <p>国連による「世界幸福度報告（World Happiness Report 2021）」のランキングもありますが、今回の授業での肝である精神的幸福と物質的幸福を対比させながら考えを深めるために、GNH（国民総幸福量）の方が指標としては分かりやすいです。</p> </div>

目安時間	活動内容
30分	<p><b>【ワーク】 フォトランゲージをやってみよう（2回目）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>資料③</b>『フォトランゲージ写真集（マラウイの笑顔編）』から、グループに1枚ずつ配られた写真を見て、気づきをメモして発表する。</li> <li>・ フォトランゲージの進め方は1回目と同じだが、人々の「笑顔の理由」についても考える。</li> </ul> <p>（笑顔の理由）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自然がたくさんあるから。</li> <li>・ 笑顔があふれているから。</li> <li>・ 家族と一緒に過ごしているから。</li> <li>・ 遊びや生活に必要なものを自分で作り出して、達成感を味わっているから。</li> </ul> <p>（笑顔と矛盾すること）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 食事が貧相。</li> <li>・ 道路が舗装されていない。</li> <li>・ 家がわらや土でできていてすぐこわれそう。</li> <li>・ 服を買うお金がないから服がボロボロ。</li> </ul> <p>フォトランゲージのグループは前回と同じでも、メンバーをシャッフルして変えてもOK。メンバー構成を変えると、より多様な視点に触れることができます。</p> <p>自分と違う意見があっても、共感的態度で聞くように促します。</p>
15分	<p style="text-align: center;"><b>考えは変わった？</b></p> <p><b>【チェック】 幸福度チェックをしてみよう（2回目）★補足③</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1回目から変化があったか、もし変化があったとしたら、その理由も書く。</li> </ul> <p><b>【深める】 フリートークと全体発表をしよう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ フリートークでお互いの幸福度とその理由をシェアする。</li> <li>・ 全体で数名の生徒が発表する。</li> </ul> <p>「幸せとは何か」を考える次の授業にうまくつなげていきましょう。</p> <p><b>【まとめ】 授業の感想をワークシート②に書こう</b></p>

## 【3時間目】 開発途上国の人たちは「幸せ」なのだろうか

**実施の目的：**友達との意見交流を通して「幸せ」の価値観について考えを深めることができる。

**生徒の目標：**①人の幸せには、物質的な幸せだけではなく、精神的な幸せも大きく関わっていることに気付く。【精神的なものど物質的なものとの緊張】

②昔ながらの遊びや仕事には、既製品や機械にはない良さ（人と人とのコミュニケーション、達成感など）があり、それが幸せに関連していることに気付く。【伝統と現代性との緊張】

③「幸せ」の価値観について考えを深めることができる。

**事前の準備物：**幸福度チェック1回目と2回目それぞれのクラス平均

ワークシート③

目安時間	活動内容
5分	<p style="text-align: center;"><b>なぜ、みんなの幸福度が変わったの？</b></p> <p><b>【知る】 幸福度チェックでクラス平均値の変化はあった？</b>                      ・ 1回目と2回目の幸福度のクラスの平均値の変化を知る。</p> <p><b>【問い】 なんでみんなが考える幸福度の数値が変わったのかな？</b>                      (発言例)                      ・ 物があるだけでは幸せかどうかわからない。                      ・ 幸せを感じる幅が広がった。</p>
20分	<p style="text-align: center;"><b>マラウイの人たちは「幸せ」なのだろうか？</b></p> <p><b>【問い】 世界最貧国に住むマラウイの人たちは「幸せ」なのだろうか？</b></p> <p><b>【ワーク】 マラウイの人たちは「幸せ」なのかどうか想像して、</b>  <b>ワークシート③</b>に自分の考えを書こう</p> <p>(記入例)                      ・ 笑顔・家族・友達・心のゆとり、があるから幸せだと思う。                      ・ 物質的（経済的）な幸せだけではなく、精神的な幸せがある。                      ・ お金があるだけでは幸せかどうかはわからない。                      ・ 笑顔もあるが、やはりそれ以上に厳しい生活だから、幸せではない。</p> <p><b>【深める】 みんなの意見をシェアし合おう</b>                      ・ 記入したワークシートを手に、フリートークで意見交流する。</p>

目安時間	活動内容
25分	<p style="text-align: center;"><b>自分なりの「幸せ」の定義は？</b></p> <p><b>【まとめ】「幸せ」について考えたことを、ワークシート③にまとめよう。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの授業で考えたことを、まとめて書く。</li> </ul> <p>(記入例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちが話し合った幸せの観点は、GNHの概念と似ている。・・・</li> <li>・「幸せ」の視野を広げることができた。・・・</li> </ul> <p style="text-align: right;">抽象的で分かりづらい場合には、「何があると幸せを感じる？」などの補助発問をしましょう</p> <p><b>【深める】「幸せ」について考えたことを、みんなにシェアしよう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートに書いたことを発表する。</li> <li>※グループでの意見交流→全体発表</li> <li>※もしくはフリートークでもよい。</li> </ul> <p style="text-align: right;">正解はありません。自分なりにまとめられたら、オープンエンドでOK。</p> <p><b>【振り返る】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート内【自己評価】のアンケートを記入する。</li> </ul> <p style="text-align: right;">教師にとっては、これが授業評価にもなります。</p>

## ＜ 補 足 ＞

### ★補足①

#### 『フォトランゲージ写真集（マラウイの貧困編・笑顔編）』について

- ・STEP1では【貧困編】、STEP2では【笑顔編】から写真を選んでフォトランゲージを行う構成です。物質的貧困と精神的幸福が共存し得ることに、改めて気付くことをねらっています。最終的には、STEP3の「幸せ」とは何かを深く考えることにつなげていきます。
- ・説明（青枠）とコメント例（オレンジ枠）は教師の参考用です。生徒には写真のみ配ります。
- ・説明（青枠）は、フォトランゲージ終了後、事実の確認時に生徒に配ってもかまいません。

**【貧困編】【笑顔編】**それぞれ12種類の写真が用意されています。その中から、グループ数分を選んで使ってみてください。

**【国名—県名（撮影年）】**の下に、写真の説明が書いてあります。フォトランゲージの気付きへフォローするとき、事実の確認をするときに参考となる情報を載せています。



フォトランゲージで想定される気付きコメントの例です。フォトランゲージ中の生徒への声かけに役立ててください。

★補足②

「フォトランゲージ」について ※詳細はこちらから→

開発教育協会 DEAR ホームページ

<http://www.dear.or.jp/activity/1730/>

※ 25 ページ参照



★補足③

「幸福度チェック」について

・ 0～10の10段階とします。次のように目安を示すと、答えやすくなります。

数値の目安「全く幸せがない」： 0  
「真ん中くらい」： 5  
「幸せがいっぱい」： 10

- ・ あまり深く考えずに、直感で答えるように声をかけましょう。
- ・ Google forms のアンケート機能などを活用すると、集計の手間なくクラスの平均や傾向をリアルタイムで示すことができます。

**STEP 4：国の際理解**

国の際（くにのきわ）に住む人々や想像力を働かせ、自身の偏見や差別に向き合い、多文化共生社会の一員としてできることを考える。

国の際理解

**【STEP 4】国と国の際にある文化を知ろう**

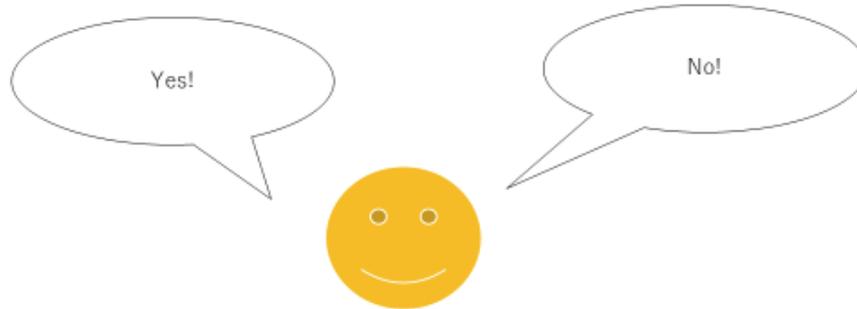
**実施の目的：**国の際（くにのきわ）に住む人々や想像力を働かせ、自身の偏見や差別に向き合い、多文化共生社会の一員としてできることを考える。

**生徒の目標：**国の際にある文化に気づき、多文化共生を考えるきっかけとする

**事前の準備物：**公民の教科書、地図帳、A3の白紙、ワークシート

目安時間	内容
5分	<p style="text-align: center;"><b>“日本”って国際的…？</b></p> <p><b>【問い】</b> 日本って国際的だと思いますか？ その理由も教えてください。 ワークシートに記入してみる</p> <p style="text-align: right;">あくまでアンケート 答えは直感的でOKです</p> <p style="text-align: center;">悲観的な答えがでてきても、 良い意味で次のワークにつなげましょう</p>
45分	<p style="text-align: center;"><b>世界の中の日本って…？</b></p> <p><b>【ワーク】</b> 日本地図とその周辺の国を描いてみよう</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 日本地図を描く、地図帳で確認をする</li> <li>2) その周辺に世界地図を描く、地図帳で確認をする</li> <li>3) 日本と周辺国との国境に線を引く、地図帳で確認をする</li> </ol> <p><b>【問い】</b> 日本は何か国と国境を接していますか？</p> <p><b>【問い】</b> 日本は国“際”的だと思いますか？ ワークシートに記入をする</p>  <p style="text-align: center;"><b>日本の中の世界って…？</b></p> <p><b>【問い】</b> “日本”の定義って何だと思いますか？</p> <p><b>【ワーク】</b> 公民の教科書で、領域（領土、領海、領空）、国民、主権を確認しよう</p> <p><b>【問い】</b> 国の国との際（境）にある文化ってどんな文化がありますか？国境以外のところにもありますか？</p> <p><b>【知る】</b> 国と国の際（境）にある日本（国際日本）を調べる。教員が1例をあげて紹介する EX) 琉球文化、アイヌ、小笠原、在日韓国朝鮮、南米移民、日系人、中華街</p> <p><b>【問い】</b> みなさんが考える日本的って何ですか？国際的って何ですか？</p>

日本って国際的だと思いますか？その理由も教えてください。



日本地図を正確に描いてみてください



そのまわりに世界地図を描いてみてください



**STEP 5：自分プレゼン**

クラスの中で「他者の知らなかった自分」を表すプレゼンをする。Step 1～Step 4 までの内容を振り返り、自分が持つ偏った他者への視点。その視点は隣の席の友人にも向けていることに気がつくきっかけとする。

**学びの構成**

**最上位目標** \*この単元で児童・生徒のどのような成長を支えるのか

**1) 無知の知（他者へ無意識の偏見を持つ自分に気づく）**

多文化共生社会実現のため、他者を知ることで、自分が他者に向ける視線に気づく。  
それにより、自分の見方の偏りや人の多面性を意識する。

**2) 自己理解**

自分を知り、理解しようとする姿勢を身につける。  
他者理解のためにまず自分を知る。

**3) 自他の尊重（はじめの一步）**

自分の意志の認識や自己を大切にすることを学ぶ。自分の一部が他者に受け入れられる経験、他者を受け入れる経験をする。

**学びの流れ** \*各時間の指導案のタイトルと内容を、読み手に伝えるようにまとめます

**1 時間目：自分を知る**

今の自分、何が今の自分を作ってきたのかを見直す。ワークシートを使って自分史を書き、自分が好きなことや大切にしていることの源泉、それにひもづく理由を探る。  
プロジェクト立ち上げられるようにジブンゴト化しやすい工夫をしています。

**2 時間目：自分プレゼンのリハーサル**

ワークシートを使って、簡単に小グループで発表。お互いにフィードバックもする。

**3 時間目：実演見学**

教員の自分プレゼンを見る。フィードバックの練習と、自分プレゼンのイメージ作りをする。

**4 時間目：いざ自分プレゼン！**

ひとり5～10分で自分プレゼンテーションを行う。お互い発表に対するフィードバックも行う。

## 【1時間目】 自分を知る

**実施の目的**：今までの自分を振り返り、客観的に自分を知る。伝え、表現するための第1歩は「何を」伝えるかを知ること。

**生徒の目標**：自分を振り返り、整理する。

目安時間	内容
5分	<p style="text-align: center;"><b>君はどんな人？</b></p> <p><b>【問い】 あなたはどんな人ですか？</b>            (例) 性格、所属、住んでいるところ.. など            少し考えさせてみる。</p> <p><b>【問い】 先生はどんな人に見えますか？</b>            (例) 怖い、背が小さい/高い、面白い、ギターが上手い... など            その場で答えて見る。            ・意外と自分のことも、先生のこと知らない、ということを実感する。</p> <p style="text-align: center;"><b>君の良いところ、隣の人の良いところ</b></p> <p><b>【ワーク】 あなたの良いところは何ですか？</b>            ・自分の良いところを考えて、ワークシートに書いてもらう。            ・隣の友人にも聞いて、良いところを見つけ合うペアワークをする。            ・目安は5個。</p>
15分	<p style="text-align: center;"><b>で、今回は何をやるの？</b></p> <p><b>【説明】 自分プレゼンとは何か</b>            今回行う自分プレゼン&lt;補足1&gt;の目的、説明、流れを説明する。</p>
20分	<p style="text-align: center;"><b>自分を振り返る</b></p> <p><b>【ワーク】 ワークシート</b>            ・ワークシート（資料1）を配り、取り組む。            ・教員はファシリテーターとしてクラスを回る。            ・自分についてより多面的に知るために、なるべく埋めるように伝えるが、無理に全ての項目を埋める必要はない。</p> <p><b>【宿題】 ワークシート</b>            ・ワークシート（資料1）の記述が宿題。            ・次回ワークシートの内容について、小グループで発表。</p>

## 補足 1

## 自分プレゼンテーション概要

## ●実施の目的

自分のことを人に伝え、自己を開示し合い、他者の多面性を知る。友人の開示に対してフィードバックをすることで、自分が他者のどのような部分を見て、何を見ていないのかを自覚する。また、開示に対するフィードバックを受け取ることで、自分が受け入れられる経験をする。

「隣に座っている友達のことって意外と知らない。  
『知らないままである』ことが偏見や差別につながる可能性がある。  
だからこそ、他者について知ることが重要だ。  
そして、他者について知るためにまず自分を知ってみよう。  
自分を知るからこそ他者を知ることができる。  
そして、今回のプレゼンを通してクラスの皆のことも知ってみよう。

## ●生徒の目標

自分の心をいつもより少しだけ開く経験をする。実は級友の知らない部分があることを自覚し、知り、受け入れる。

## ●方法

テーマを1つ選んで、プレゼンテーションをする。プレゼンテーションの方法は自由。写真、演奏、演技、スポーツの技、スピーチ、作文、動画など手段を問わない。どのテーマを選んでも良いが、ただそのテーマについて説明するのではなく、

「なぜ」「どのような経緯で」「その経緯の中で思ったこと」「そのテーマは自分にとって何か」など、自分の頭の中を表現しようとしてみる。

テーマ：自分の強さや弱さ、得意なこと苦手なこと、好きなこと嫌いなこと、自分が大切にしたいこと、実は私～なんです。、今までワクワクした瞬間

クラスの前で話すことに負担を感じる場合は、文章や写真を先生に提出するなど、柔軟に対応する。あくまでも、自分について考え少しでも心を開くこと、クラスメイトの話を聞いて、今まで知らなかったことを知ることが大事。

## ●フィードバック

発表者にはクラスメイトから発表に対するフィードバックをもらう。質問項目 1 の部分は、発表者にまとめて渡すようにする。

資料 1 にある①バイオグラフィ、②私らしさが表れているエピソード、③私らしさが表れていると思う写真、④今のあなた、⑤今→未来のあなた、に取り組んで自分プレゼンの準備をしよう！

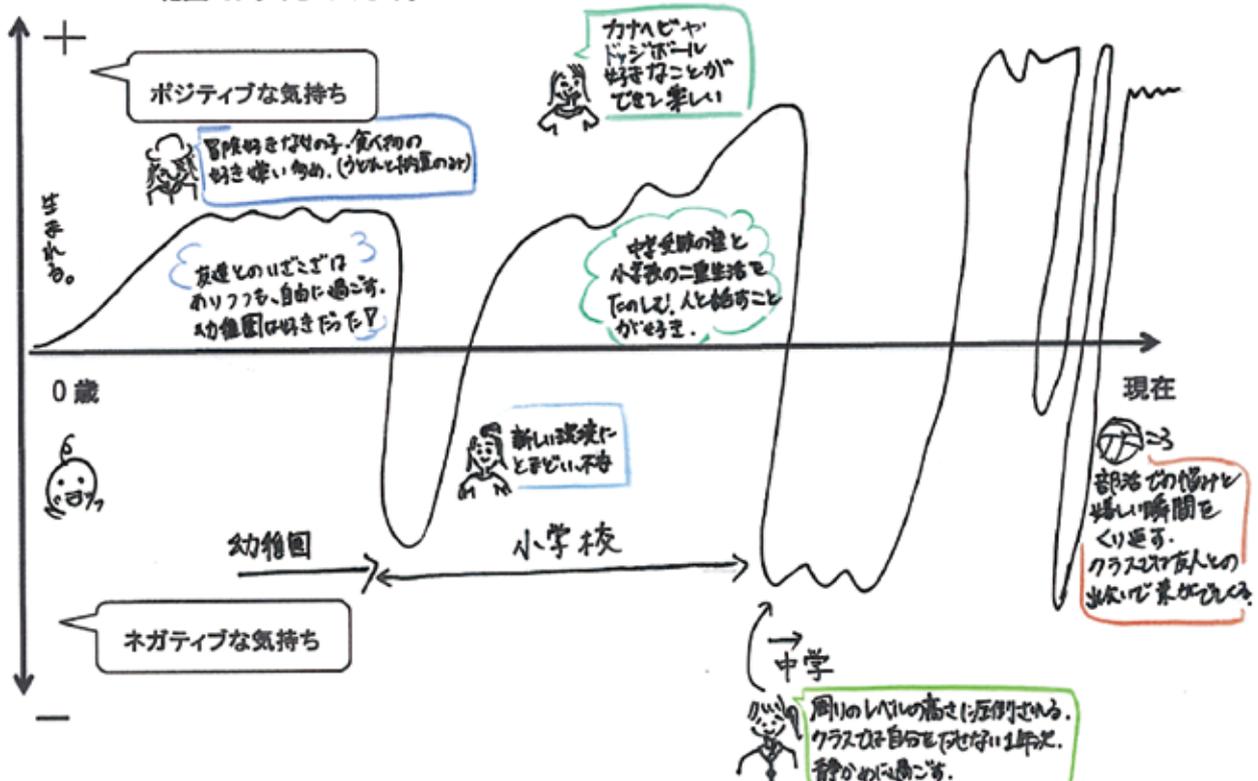
たとえば、「④今のあなた」について、下の文を埋めて見ましょう。いろんなパターンを考えてください。

1. 私は〜〜が好きだ。なぜなら…………
2. 私は〜〜が嫌いだ。なぜなら…………
3. 私は〜〜を大切にしたい。なぜなら…………

### ①バイオグラフィの例

#### ①バイオグラフィ

生まれた時から今までのバイオグラフィを書いてみよう。楽しかった時期、辛かった時期、両方を行き来した時期、それぞれの時期にどんなことがあったか、書ける範囲でトライしてみよう。



## 【2時間目】プレ自分プレゼンの見学と実践

**実施の目的：**自分を伝え、表現する、それが受け入れられる経験をして、自分プレゼンのハードルを下げる。

**生徒の目標：**少しでも自分を伝える体験をする。

**準備するもの：**ワークシート・授業者記述のワークシート・付箋

イメージをしやすくして、  
心理的なハードルを下げる。

目安時間	内容
20分	<p style="text-align: center;"><b>「自分を伝える」を考える</b></p> <p><b>【説明】 教師のプレ自分プレゼン</b> ・授業者が埋めたワークシートを使って発表する。</p> <p><b>【ワーク】 自分をどう伝える？</b> ・ワークシート&lt;資料1&gt;を使って、どの部分をどのように発表するかを考える時間を取る。</p> <p style="text-align: center;">先生のプレゼンが型の一つに。</p> <p><b>&lt;使い方&gt;</b> ・ワークシートに書いた項目を全て使う必要はなく、使う項目を一つでも複数でも好きに選んで良い。 ・ワークシートの項目を説明する内容でも良いし、ワークシートの項目を材料にして自分を説明してみても良い。</p>
30分	<p style="text-align: center;"><b>プレ自分プレゼン</b></p> <p><b>【ワーク】 プレ自分プレゼン</b> ・ワークシートをもとに4～5人のグループで発表。 (クラスの規模や時間で調節) ・お互いのワークシートに付箋でそれぞれフィードバックをする</p> <p style="text-align: center;">自分が人に出してもいいかなと思える部分だけで良い。</p>

## 3時間目：実践見学

**実施の目的：**自分プレゼンの方法や内容についてイメージを作り、発表の心理的ハードルを下げる。

**生徒の目標：**自分プレゼンに向けて、構想を考える。

目安時間	内容
10分	<p style="text-align: center;"><b>自分プレゼンの例を見てみよう</b></p> <p><b>【説明】先生のプレゼンを見てみよう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・先生が自分プレゼンを実践</li> </ul>
10分	<p><b>【ワーク】フィードバックしよう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フィードバックシート（資料2）をもとにフィードバック</li> <li>・先生はフィードバックシートを集める。</li> </ul> <div style="border: 1px solid #ccc; border-radius: 10px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>フィードバックする時には、相手をまず受け入れてみることを注意する。わからないこと / 理解できないことはそれでいいが、多少なりとも勇気を出して伝えてくれていることなのでわざと傷つけることは書かないように、伝える。</p> </div>
30分	<p style="text-align: center;"><b>では、どう発表する？</b></p> <p><b>【ワーク】自分プレゼンを考える</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート（資料1）を参考にしつつ、どんな形態で、どのテーマについて発表するか考える。</li> </ul> <p><b>【宿題】</b></p> <p>終わらない部分については、次の授業までの宿題にする。</p>

## 4時間目：いざ、自分プレゼン！

**実施の目的：**理解した「自分」をクラスメイトに伝え、発表を聞いてクラスメイトを知る。

**生徒の目標：**クラスメイトの発表を聞き、自分を少しでもいいから開く。

目安時間	内容
柔軟に対応	<p style="text-align: center;"><b>ついに！自分プレゼンの時間</b></p> <p><b>【ワーク】自分プレゼン</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分プレゼンを一人ずつしていく</li> <li>・一人10分以内</li> <li>・なるべくクラス全体で行う。</li> </ul> <p><b>【ワーク】フィードバック</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれに対してフィードバックする</li> <li>・フィードバックは先生が回収し、項目1の部分だけ発表者本人に渡す。</li> </ul> <p><b>【宿題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・A6～A7程度の小さな紙（資料3）に授業全体のフィードバックを書いてもらう。</li> <li>・生徒の負担になりにくいよう、分量は少なくとも良い。</li> </ul>